

福生三中だより

令和7年9月30日発行 No.5

福生市立福生第三中学校

学校教育目標

- 1 よく聞き、よく見、自分の考えをもつ生徒
- 2 ものごとをやり抜く強い意志をもつ生徒
- 3 責任を果たし、みんなのために働く生徒
- 4 美しいものを求め、豊かな心をもつ生徒

校訓 礼 節

「自分も他の人も大切に」

校長 増木 一仁

8月27日より二学期がスタートし、1か月が過ぎました。二学期は三中の二大行事である音楽会や3年生の修学旅行、2年生の東京課題研究などの行事も多くあります。始業式では、目標をもち、失敗を恐れず様々な事に積極的に取り組み、挑戦してほしいという事を話しました。併せて、「自分も、他の人も大切にすること」、みんなが安心して生活できる、挑戦できる雰囲気为学校全体みんなで作っていかうという話をしました。二学期も教職員一同、保護者、地域の皆さんと一緒に子供たちを育てていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、9月6日～9月8日に修学旅行を実施しました。今年度も修学旅行のしおりに次のような内容を記載しました。

私がこの修学旅行で、皆さんに期待することは二つです。

一つ目は、関西地方、京都、奈良の歴史や文化を自分の目で見て、肌で感じてほしいということです。京都、奈良は日本を代表する歴史的建造物や文化財も多くあります。また、食や言葉、街の景観、雰囲気なども、私たちが住む東京とは違いがあります。そこを実際に自分の目で見て、肌で感じて見識を広げてほしいと思ひます。

二つ目は、生徒も先生方もみんなで協力して豊かな時間にしてほしい。

2泊3日の時間を全員が楽しい、良い時間にするために大事なことは「目配り」「気配り」「心配り」です。この2泊3日は集団生活であり、学校の外で、一般の人の中での生活です。自分だけでなく周りをよく見て、周りに気を配り、周りの人のことを考え、行動することで楽しい、良い時間、豊かな時間が生まれます。

裏面の写真からもわかるように東京駅の出発から実行委員の声掛けをはじめとした「目配り」「気配り」「心配り」、新幹線やバスの中、レクの時間などでのみんなで楽しむ姿、班別行動から宿に戻ってきた際に経験したことを嬉しそうに報告する姿、そして三中の校訓である「礼節」を大事にする姿など、2泊3日本当に素晴らしい、心地の良い時間となりました。

スローガンで掲げた「鹿張楓月～大仏より大きく、金閣寺より輝く思い出を～」の通りの多くの経験と思い出のつまった修学旅行になったのではないかと思います。

「自分も、他の人も大切に」「目配り」「気配り」「心配り」、大切な社会性です。今後も大切にさせていきたいと思ひます。